

群馬県議会 リベラル群馬

街頭演説900日
県政の革命児!

県議会だより

後藤かつみ

vol.19

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com
http://www.ccrgoto.com/

震災、雇用、エネルギー対策へ提言

リベラル群馬、H24年度予算に向けた提言書を知事に提出

予算編成を議会がリードしていく時代に

今回提出した提言書では震災、雇用、エネルギーという緊急課題の17要望に絞りました。これまでの会派の予算要望というと、総花的に100を超えて多数の要望を出すのが通例でした。しかし、財政難により事業の選択が厳しく問われる時代には「何でも要望する」という姿勢は無責任であると考えます。後藤は、リベラル群



知事に予算提言書を提出

現場主義の視点からの提言
後藤自身もさることながら、リベラル群馬としても、特に震災以降、甚大な被害を受けた福島県相馬市の取り組みや、復興支援にあたる群馬県職員の状況を調査。また、桐生市の新エネルギーの地産地消の取り組みなど、最前線の現場をくまなく視察してきました。相馬市長が強力な陣頭指揮により、住民の声を迅速に伝える状況を確認し、有事におけるリーダーシップの重要性を痛感

リベラル群馬 予算提言の主な概要

- 1 雇用**
内定率の厳しい地元大学と地元中小企業とのマッチングに重点を置いた地元重視の就職支援策と、それをコーディネートする「若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）」の体制強化を要望。
- 2 大規模災害 放射能対策**
子どもへの健康被害対策が第一。子どもの健康調査を県独自で実施するよう要望。
大規模災害時に、組織の「縦割り」を超えて強力かつ迅速な指揮を執れる危機管理部を改めて設置するよう提言。
- 3 新エネルギー**
本県が優位性を持つ新エネルギーである「太陽光・水力・バイオマス」について、「攻め」の目標を設定し、実効ある普及策を進めると同時に、地元企業のビジネスチャンス拡大に繋がる産業創出策を打ち出すことを要望。



県内4大学による学生と県内企業とのマッチングの取り組み現場を視察



電力の地産地消に取り組む桐生市の「チャレンジ25地域づくり事業」の現状を視察



福島復興支援に従事する群馬県職員の状況を視察

新エネルギーの推進ビジョンに向け政策提言

「攻め」の導入目標を

後藤は、9月議会の一般質問でも取り上げ、リベラル群馬の予算提言でも柱としている新エネルギーの推進について議論。

県は「太陽光・水力・バイオマス(生物由来という意)発電の2015年までの導入目標を定める」としています。後藤は、いずれも本県が豊富に持つ資源である。

これに対し県も、①姿勢を示す意味で高めの目標を設定する。②実現に向けて毎年度の取り組みを行程表で示す。と答弁し、意欲的に取り組む決意を示しました。



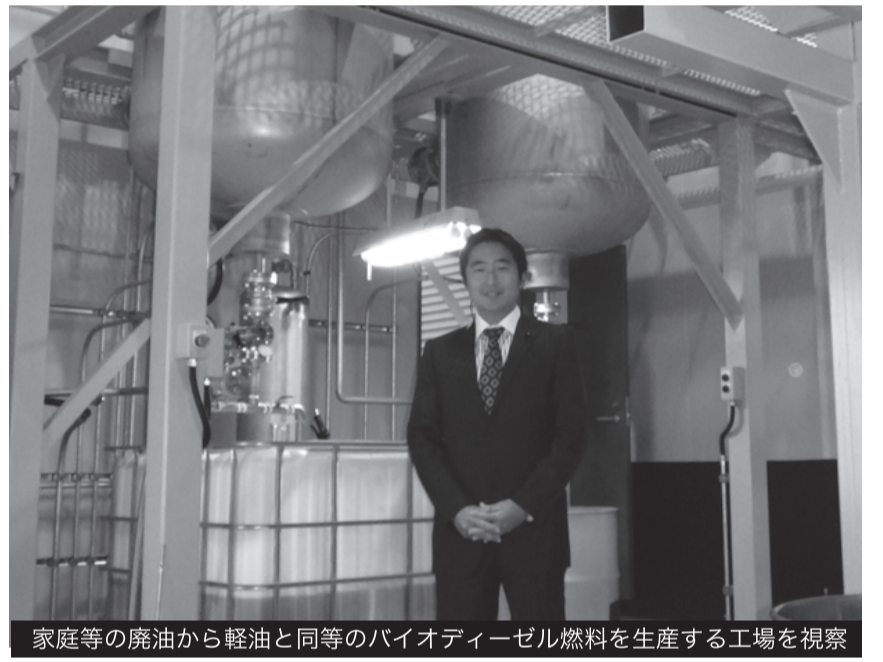
家畜の糞とメッキ廃液から電力とレアメタルを生み出す画期的な装置を視察

後藤は、秋以降、バイオマスエネルギーの推進について重点的に視察研究を重ねてきました。群馬県は林地残材(山に放置されている伐木等)の木質バイオマス資源に加え、全国4位の畜産県であることから、家畜の糞等の畜産バイオマス資源が豊富であることが強みです。また、家庭等の廃食油を地域で資源として回収する運動も盛んに行われています。

いずれにも共通しているのは、処分に困る「やっかいもの」を「エネルギー資源」

後藤は、写真にある産学官連携により開発した施設を視察した上で、これらの実用化・普及を行政が強力にバックアップすることに、バイオマス先進県を目指すべきと提言しました。

バイオマスエネルギーの推進を



家庭等の廃油から軽油と同等のバイオディーゼル燃料を生産する工場を視察

議会改革 海外視察復活に 慎重対応を求める

現在、県議会では自民党を中心に「海外視察復活は当然」というキャンペーンが盛んに行われています。しかし、震災後の深刻な社会状況を考えれば、県民から「空気の読めない県議達」と捉えられかねません。

後藤は、9月の一般質問でも、反対・慎重の立場を明確に主張しましたが、十一月十六日に、若手議員を中心とする3会派で改めて慎重な対応を議長に対し申し入れました。

海外視察の再開 慎重対応申し入れ

議長に県議会3会派

県議会が再開するかどうか協議している委員会の海外視察について、リベラル群馬、新学生会、爽風の3会派は16日、再開は「社会情勢を考慮しない議員特権の復活と捉えられかねない」として、南波和憲議長宛に慎重に対応するよう申し入れを提出した。3会派は海外視察を行なう場合、政務調査費を活用すればいいと主張している。

委員会の海外視察は民放テレビで批判的に報道された事などを受け、2005年度を最後に行なわれていない。

11月17日
上毛新聞より抜粋

地域活動報告

八幡地区

群馬八幡駅前から西に向かう県道の拡幅工事が開始。安全に歩行できる道路に。

老朽化が進んでいた歩道橋の補修・塗装工事を実施(下大島町)

